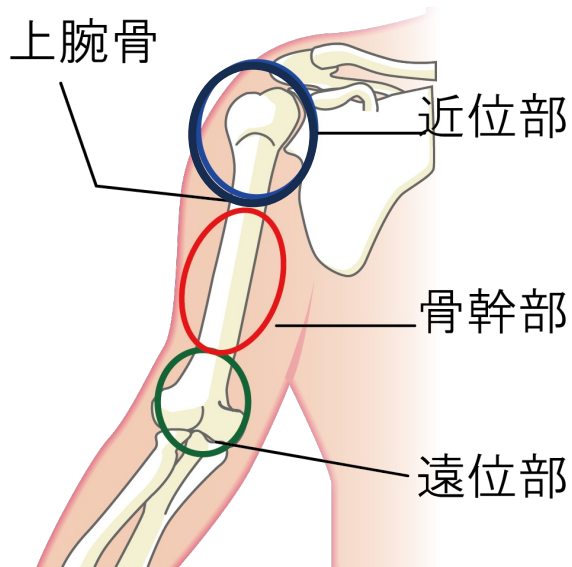


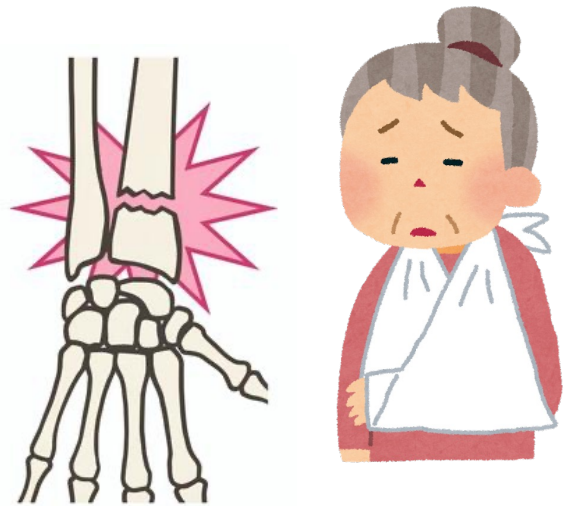
高齢者の骨折は、若い人に比べて回復が遅いという特徴があります。骨密度や骨質が低下して、骨がもろくなってしまいう骨粗しょう症の高齢者では、折れた骨を金属でつなごうとしても骨がもろすぎて固定できないこともあります。

65歳以上の四大骨折

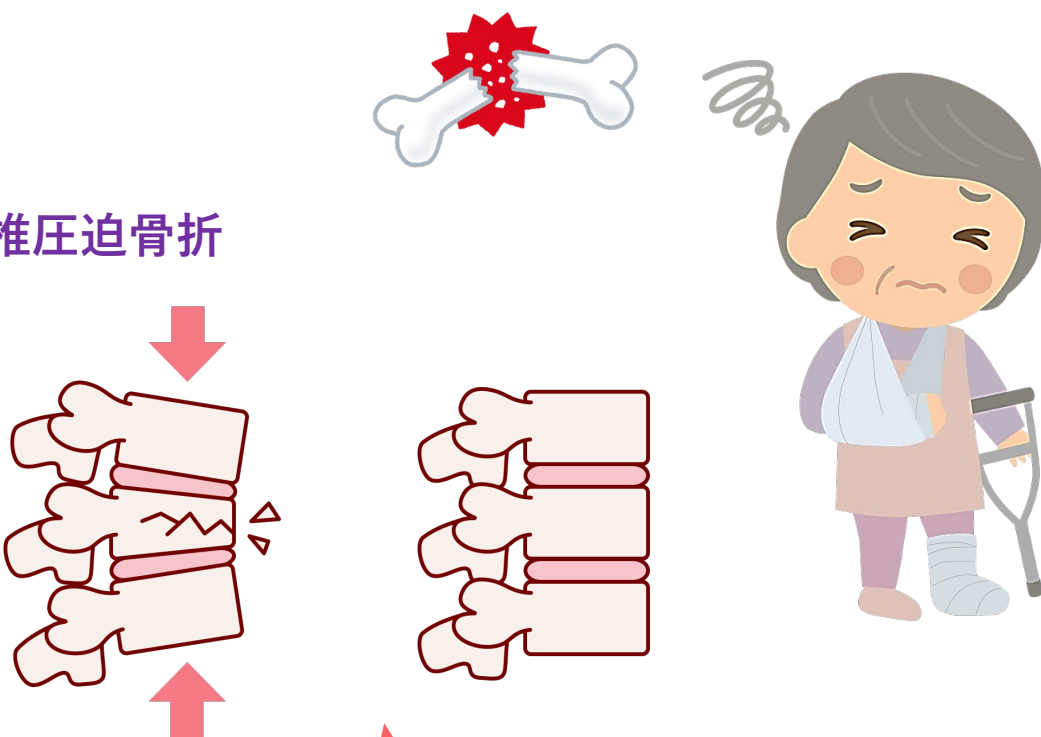
◆ 上腕骨近位部骨折



◆ 橈骨遠位端骨折



◆ 脊椎圧迫骨折

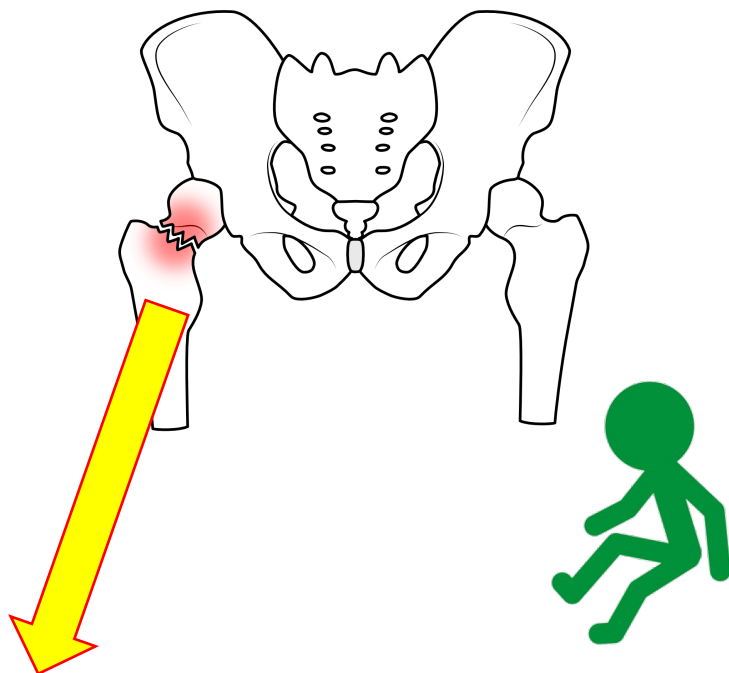


◇ 骨折すると…◇

1. 家事が出来ない
2. 外出が困難になる
3. お風呂や食事が困難
4. トイレも困難
5. とっても痛い
6. とにかく痛い

◆ 大腿骨近位部骨折

大腿骨頸部骨折

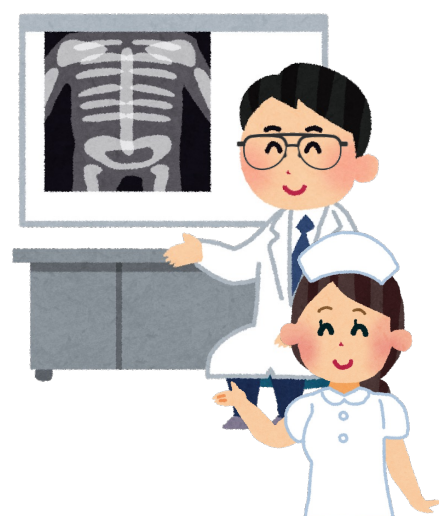


日本の骨折事情



※ 特に大腿骨近位部の骨折は自然に治ることは期待できません。ほとんどの場合【手術】することになり、入院となります。術後はリハビリで、元の状態を目指しますが、元気に歩いていた時のように歩けない人は、36%もおられます。また、障害が残り、介護が必要になる女性は25%（4人に1人）おられます。

ご自分の骨の状態を知るために、
骨密度の測定をしましょう！
当院では、**DEXA法**にて測定します。



骨密度測定装置（DEXA法）



（DEXA法とは）

2種類の異なるエックス線を照射し、骨と軟部組織の吸収率の差で骨密度を測定する方法です。
気になる被曝量は極めて少なく（胸部レントゲンの1/3程度）
迅速かつ精度の高い測定ができ、骨密度測定の代表的なものです。

（撮影方法）

当院では腰と股関節（脚の付け根部分）を測定します。
骨折を起こしやすい部位を直接測定する事で高い精度の骨密度が
分かり、また他の部位の骨折リスクの評価もすることが出来ます。

検査時間は約5分程度、検査台の上で寝ているだけの検査です。
検査結果も終了後、約10分程度で解析も終わりお渡しできます。

◇ 骨密度検査をご希望される方は
整形外科医または**主治医**にご相談ください。